

いおくニュース

2016年4月号



■プロフィール■

猪奥美里 (いおく みさと)
1980年奈良市秋篠町生まれ
平城小学校・平城中学校／ドイツギムナジウムジーク留学／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院(環境経済学専攻)／衆議院議員秘書
2011年奈良県議会議員初当選
2015年4月12日2期目当選

◆厚生委員会

観光振興対策特別委員会所属

■4月4日は養子の日

2014年日本財団により養子の日として制定されました。虐待や死別などの理由で家族と共に暮らすことができず、施設で生活する子どもたち(施設養護)は全国に約4万人。一方、里親などに委託され、家庭に近い環境で養育される子ども(家庭的養護)は5600人弱に過ぎません。まだまだ日本では里親制度は浸透しておらず、ほとんどの子どもたちが、乳児院や児童養護施設で過ごしているのが現状です。問題が里親や養子縁組だけで解決できる訳では

ありませんが、無条件に愛され、そして将来にわたっての戻りどころになる「家庭」があるということは、子どもたちにとって必要であろうと考えます。

■里親・養子先進国では？

日本ではほぼ施設養護に偏っている一方、例えばアメリカでは年間12万組の養子縁組が行われています。要保護児童の実に77%が里親や養子縁組などの制度により新たな「家庭」を得ています。最大の要因は「親権剥奪」のしくみがあることかもしれません。アメリカでは児童虐待が疑われる場合、まずは警察よる保護、調査の後、家族機能を正常化するためのプログラムが適用され、状況が改善しない場合は、親の意図に関わらず、子どもは親の手を離れ、里親や養子縁組などが行われるような制度になっているようです。結果、里親や養子縁組の選択肢も当たり前になり、子どもたちも特別視されることなく、家族の形の一つとされています。

■奈良県では？

乳児院と児童養護施設に298名が入所、里親には44名が委託されています。

施設数は乳児院が2カ所、児童養護施設が6カ所。この8カ所の施設で、社会的養護が必要な児童の9割近くが暮らしているのです。

今、社会的養護が必要な子の一番の理由は親の虐待です。親などから虐待を受けた経験は

子供に大きなストレスを生じさせていることは想像に難くありません。まずは無条件で愛してもらえる家庭(里親含む)で育つことが第一です。奈良県の里親委託率は、増加傾向にあります。微増でいまだ低いまです。県や自治体によっては、積極的に里親委託の取り組みを進めているおり、成果も出てきています。例えば、新潟県では委託率が5割にまで向上しています。奈良県でも里親委託増加していくには、数値目標を持ち取り組んでいくべきです。

同時に、施設養護の質の充実も図らなくてはなりません。先日、滋賀県にある「さざなみ学園」のサポーターの方にお話を伺いました。ここは情緒障害児短期治療施設という施設で、虐待などで心に傷を受けた子が入所しています。(全国に38施設ある施設ですが、奈良にはありません)。施設養護の場合は細やかにケアができる専門の施設でないと、可能な限り傷を癒し、自己肯定感を持つことは難しいとのことでした。

児童養護施設は、もともと戦争孤児のために建てられた施設のため、特にケアの制度設計が不十分です。もちろん虐待を生まない社会を作ることは力をいれねばなりません。里親制度の充実と、施設においては被虐待児に十分なケアと愛を与えられる施設へと変わっていくべきであると考えます。

3月スケジュール

- 1日(火)女性の輝き・活躍促進シンポジウム
- 2日(水)支持者訪問
- 3日(木)休み
- 4日(金)本会議(代表質問)、連合奈良春闘決起大会、
民主党奈良県連第2回役員会、常任幹事会
- 5日(土)京都3区応援、泉ケンタ事務所訪問
- 6日(日)第12回まぶち会春の集い
- 7日(月)本会議(代表質問)
- 8日(火)本会議(代表質問、一般質問)
- 9日(水)本会議(一般質問)、奈良青年会議所
- 10日(木)議会改革推進会議、本会議(一般質問)
- 11日(金)休み
- 12日(土)お水取り
- 13日(日)京都3区応援、泉ケンタ事務所訪問
- 14日(月)休み
- 15日(火)インターンニュースレクチャー
- 16日(水)梨木心礼ちゃん市長表敬訪問
- 17日(木)奈良青年会議所3月第1例会
- 18日(金)平城小学校卒業式
- 19日(土)民主党奈良県第1区総支部第17回定期大会、映画「もったいない」上映会
- 20日(日)階戸市議御尊父ご葬儀
- 21日(月)青年委員会
- 22日(火)休み
- 23日(水)ゴミ問題に取り組む方々との懇談
- 24日(木)ポスティング
- 25日(金)本会議閉会、奈良市議会傍聴
- 26日(土)京都3区応援、泉ケンタ事務所訪問、東アジア文化都市 2016 奈良市オープニング
記念シンポジウム
- 27日(日)インターンニュース校正
- 28日(月)インターンニュース印刷
- 29日(火)私鉄奈良県連定期大会、奈良市議会傍聴、奈良 JC 地域再考政策特別委員会
- 30日(水)事務作業
- 31日(木)京都3区応援、泉ケンタ事務所訪問

インターン生と過ごした春

2月、3月の2か月間

2人のインターンの大学生を受け入れ共に活動しました！

インターン生自らが選挙に出る！という前提で、選挙戦を組み立てる模擬選挙。

そして、インターンニュースの執筆など

今回も私にとって刺激的な春となりました！

3月は初めてカンピロバクターという食中毒にもなり<>

ボランティアさんもインターン生も

受け入れ可能ですので、ぜひという方はお声かけ下さい。

↓大学生も駅でマイクを握り、街頭演説

県議会。登壇&議長席↓



〒631-0817 奈良市西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号

TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094

メール info@ioku.jp

ブログ <http://ameblo.jp/1093310/>

ホームページ <http://ioku.jp/>

↑過去のニュースはこちらをご覧ください